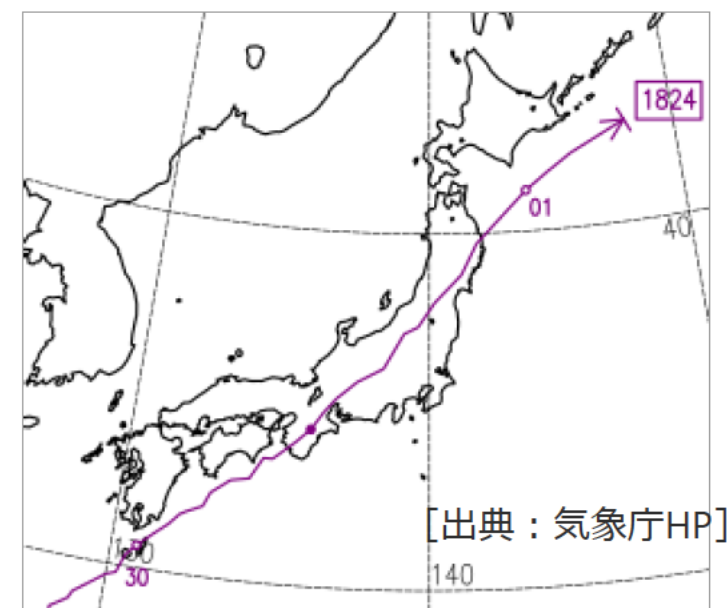


台風24号による被害状況

2019年11月5日

中部電力株式会社

- ▶ 台風24号は、9月30日(日)20時頃、非常に強い勢力を維持したまま和歌山県田辺市付近に上陸した。
- ▶ その後、激しい風雨を伴い近畿・東海地方を通過したあと、東北地方へと進み、10月1日(月) 9時頃に温帯低気圧となった。



【1989年（平成）以降 延べ停電戸数上位 5 事象】

年月	事象名	上陸時中心気圧 [hPa]	管内最大平均風速 [m/s]	管内最大瞬間風速 [m/s]	延べ停電戸数
2018. 9	台風24号	960	32.1	46.8	約119万戸
1998. 9	台風 7 号	960	29.8	56.4	約111万戸
1990. 9	台風19号	945	32.6	56.1	約90万戸
2018. 9	台風21号	950	31.5	46.3	約85万戸
2009. 10	台風18号	950	32.7	44.2	約55万戸

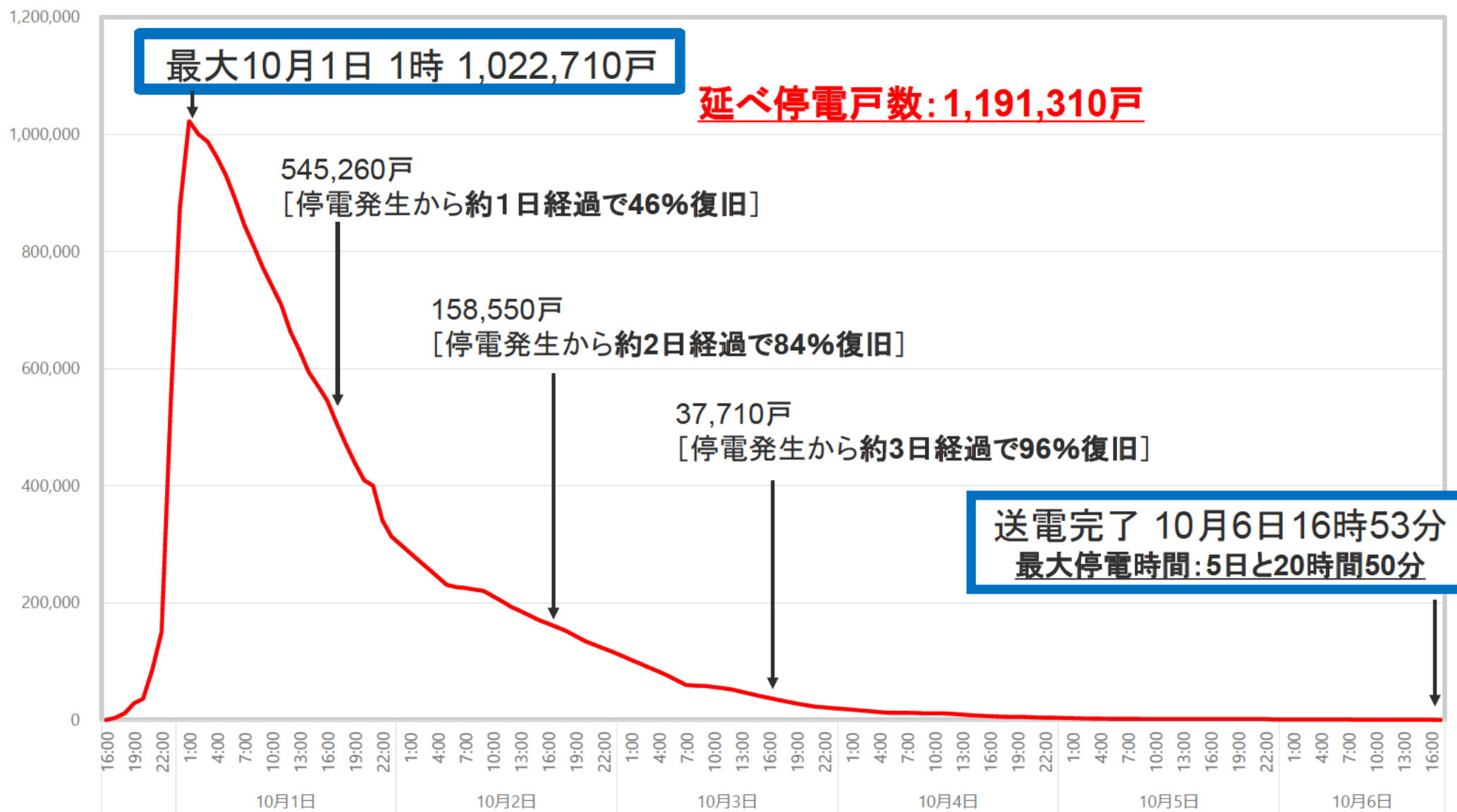
- ▶ 台風21号・24号の対応を踏まえた様々な課題に迅速に対応していくため、社長を委員長とする「非常災害対応検証委員会」を全4回※開催した。
- ▶ 「設備復旧の体制」「お客さまへの情報発信」「自治体等との情報共有・連携」を主要3課題に設定し、課題の抽出と改善策の検討を行い、アクションプランとして取りまとめた。

※【開催日：第1回（10/22） 第2回（10/31） 第3回（11/13） 第4回（11/19）】

委員長		社長
副委員長		副社長、専務、電力NWCP社長
事務局		総務室防災G
委員	本店	本店 ・総務室長、広報室長、BS・広報センター長、ITシステムセンター長 電力NWCP ・NWCP副社長 ・NW総務部長、電子通信部長、NW営業部長、配電部長、系統運用部長、送変電部長 販売CP ・総務部長、お客さま営業部長、法人営業部長 発電CP ・総務部長、火力発電事業部長、再生可能エネルギー事業部長
	支店社	東京支社長 名古屋支店長、静岡支店長、三重支店長、岐阜支店長、長野支店長、岡崎支店長

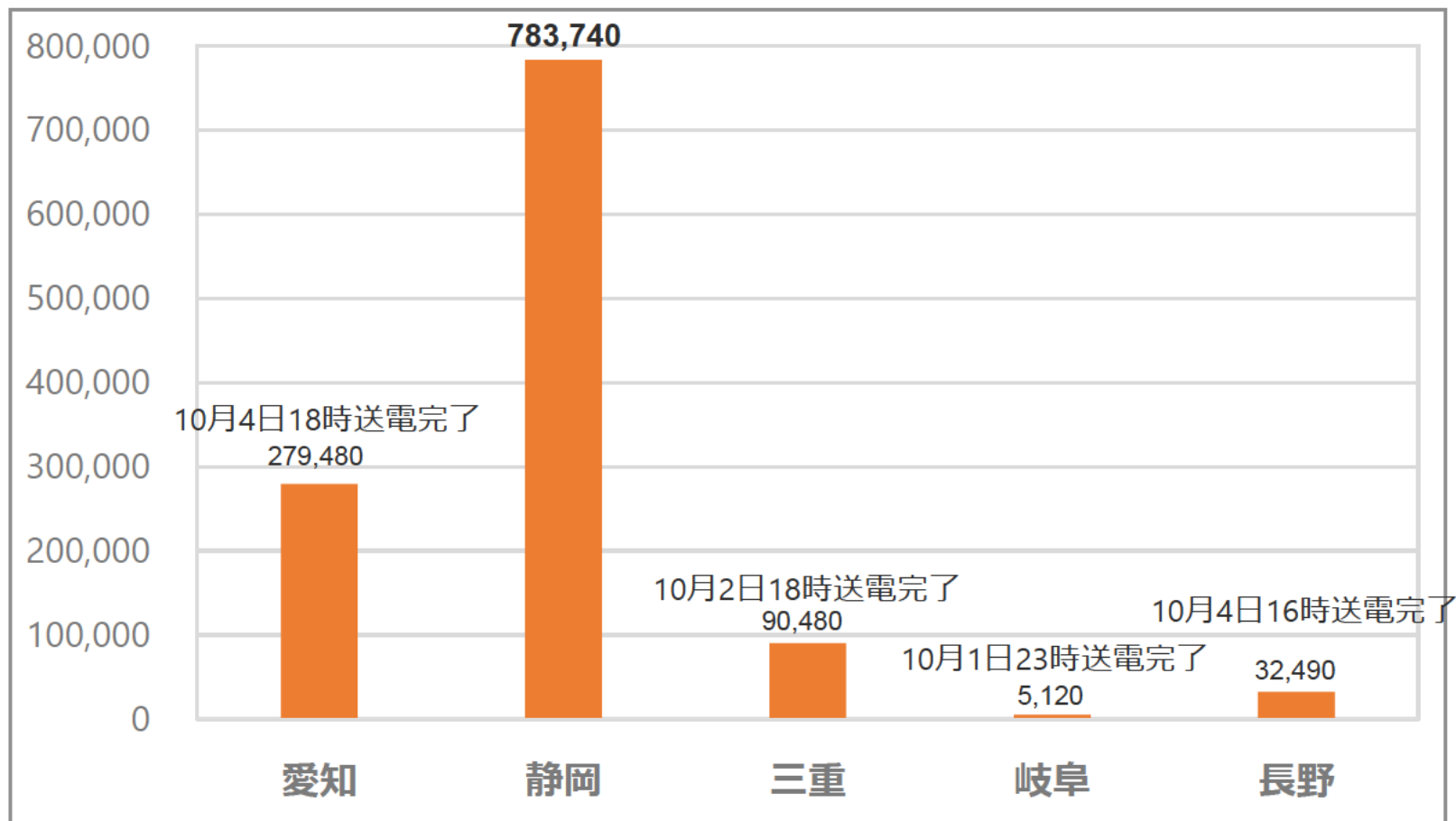
03 | 台風24号 停電戸数（復旧）の時間推移

停電戸数(戸)



04 | 台風24号 停電戸数・県別内訳

延べ停電戸数(戸) 10月6日16時53分送電完了



05 | 台風24号における設備被害概要

- ▶ 台風24号の配電設備被害として、支持物被害数が206本、高圧線の断混線が2,974条発生した。
- ▶ 改修伝票の情報・写真から倒木・飛来物・土砂崩れの有無等を確認した結果、支持物被害は、倒木によるものが8割以上（169本/206本）を占めていた。

配電設備						送電設備	
架空線			地中線			架空線	
支持物【本】 (折損・倒壊等)	高圧線【条】 (断線・混線等)	変圧器【台】 (損傷・傾斜等)	地上機器【台】 (浸水等)	地上機器【台】 (損傷・傾斜等)	ケーブル【m】 (損傷等)	鉄塔【基】 (折損・倒壊等)	特高線【条】 (損傷)
206※	2,974	53	0	0	0	0	2

※ 支持物被害の原因別内訳

	倒木	飛来物	土砂崩れ	計
折損・倒壊	95	17	4	116
傾斜	74	14	2	90
計	169	31	6	206

06 | 被災現場の状況（倒木）＜台風24号＞

▶ 倒木による断混線、電柱折損が発生した。



07 | 被災現場の状況（飛来物）＜台風24号＞

▶ トタンやビニール等の飛来物が接触し、断電線・電柱折損が発生した。

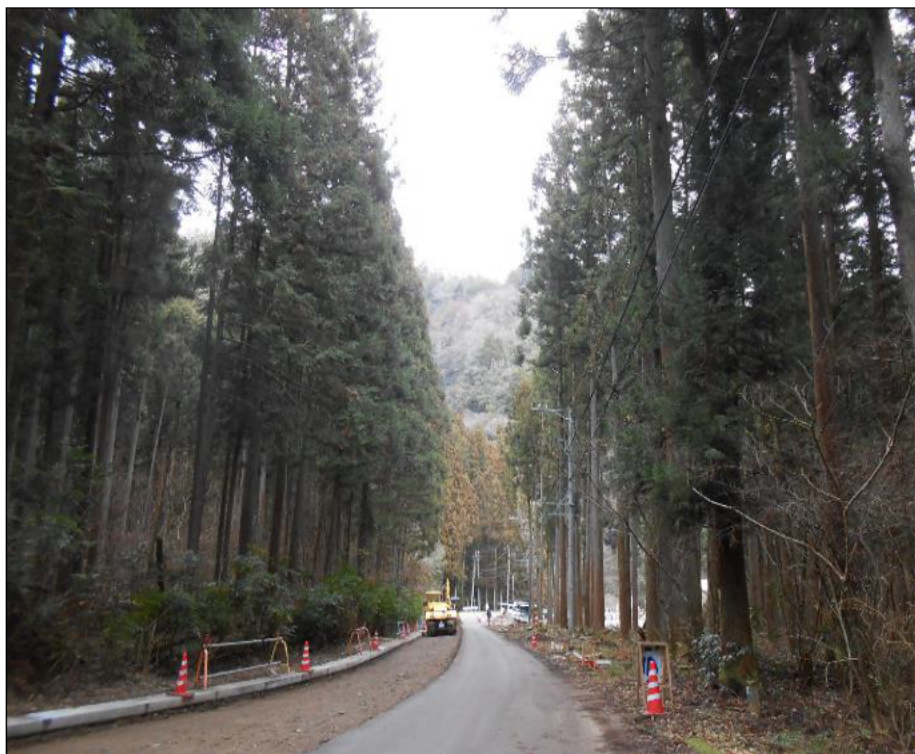


08 | 原因別の再発防止策（倒木対策）

○自治体と連携した倒木未然防止（計画伐採）

- ▶管内の一部自治体と連携し、配電設備周辺の立木について事前の計画伐採を実施している。
- ▶倒木による停電（配電線被害）の未然防止とともに、倒木による道路寸断の未然防止につながるメリットがある。

施工前



施工後



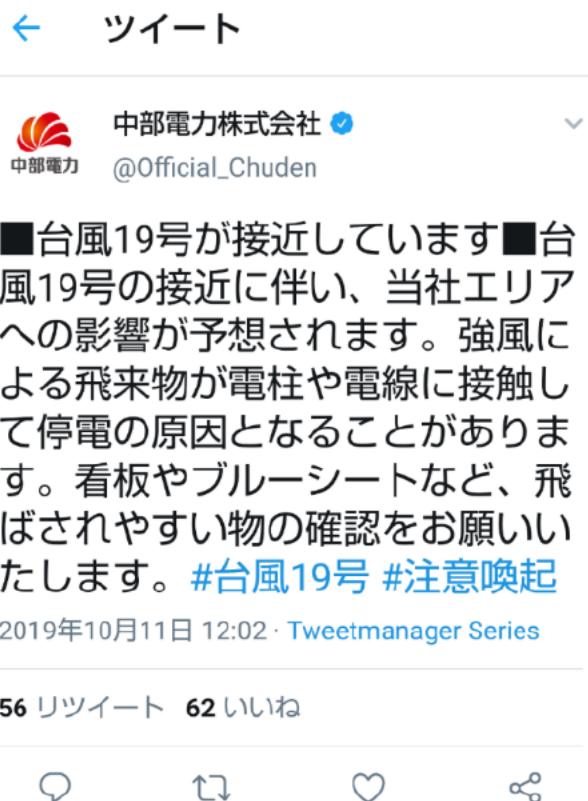
09 | 原因別の再発防止策（飛来物対策）

○住民の皆さまへの飛来物防止に向けたP R活動

- ▶ 台風の接近が予想される場合、当社スマートフォンアプリ「停電情報お知らせサービス」によるプッシュ通知やTwitter・FacebookといったSNSにより、飛来物の防止P Rを実施している。
- ▶ 従来からの保安PRチラシに加え、台風対策に特化した飛来物防止や感電事故防止チラシを充実させ、自治体や農業協同組合等に配布している。



アプリ



Twitter



チラシ

